

◆中学入試算数 速報・講評【浅野中学】

神奈川県御三家の一角、浅野中学。

昨年、思考力が問われる素晴らしい問題を2題出題し、中学受験界を賑わせました。

今年は昨年と比べると少し落ち着き、はっきりと易化しました。

試験として正しく篩いをかけられるように、調整したのでしょうか。

昨年のように他校を驚かせるような問題はありません。

しかし、単なるパターン学習のみではなく、初めて見た問題に対して、

今までの知識を駆使して取り組む力をつけてきてほしい、といったメッセージを大問3, 4, 5で発信しています。

受験生には、当然ですが、算数が得意な子も、そうでない子もいます。

全ての受験生のこれまでの取り組みをなるべく正當に評価できるよう、出題者が腐心して問題を作成されている様子がむしろ窺えます。

大問1 小問集合

算数が得意（思考力がある）ではない子のこれまでの学習に配慮した、素直な問題です。

大問2 仕切りのある水そう

難関校に頻出の問題です。これも小問集合と同じ狙いでしょう。

大問3 規則性

初めて見る設定の問題ですが、誘導に従って試行錯誤していけば、無理なく解ける問題です。

中学以降習う関数の概念を背景にしていますが、それらの知識が有利になることもありません。

大問4 速さ

変わった設定の速さの問題です。

(3)で、3変数になりますが、セオリー通り、2変数として工夫して考えることで、解くことができます。

大問5 空間図形 切断

本質的な理解以外の負担をなるべく減らすように、出題者が数値設定や出題形式を工夫している様子が窺えます。

(3)で切断するとき、(2)で計算した立体と同じ立体が現れることに気づけるかどうか、がポイントです。